

抽 選 方 法 の 説 明

今回申込みを受け付けた平成31年銘通常プルーフ貨幣セットについては、抽選対象数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

【申込状況及び抽選対象数】

区 分	平成31年銘通常プルーフ貨幣セット (年銘板有)	平成31年銘通常プルーフ貨幣セット (年銘板無)
申込数	144,203セット	30,039セット
販売数	50,000セット	10,000セット
抽選対象数	48,990セット	9,640セット
当選倍率	2.9倍	3.1倍

- 1 「抽選対象数」は、「販売数」からすでに販売したミントショップ・イベント等での販売分等を控除した抽選対象となる数量を示す。

1. 平成31年銘通常プルーフ貨幣セット(年銘板有)

【抽選方法】

全てのお申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込みには、はがきでの申込みに付した最終の受付番号の次の番号から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。

最初に、受付番号の下一桁の当選番号を決定します。

「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、中が見えないようにしてある箱の中に入れ、抽選者が、その箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「9」の次は「0」とします。

次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。

「0」から「1」までの番号を付けた2個のボールを「百の桁(青色)」の箱に入れ、「0」から「9」までの番号を付けた10個のボールを「十の桁(黄色)」及び「一の桁(赤色)」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。

により決定されたユニット番号から、で決定された当選番号の順に、受付番号の下一桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、48,990セット目までを当選とします。

48,991セット目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

2.平成31年銘通常プルーフ貨幣セット(年銘板無)

【抽選方法】

全てのお申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込みには、はがきでの申込みに付した最終の受付番号の次の番号から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。

最初に、受付番号の下一桁の当選番号を決定します。

「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、中が見えないようにしてある箱の中に入れ、抽選者が、その箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「9」の次は「0」とします。

次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。

「0」から「3」までの番号を付けた4個のボールを「十の桁(黄色)」の箱に入れ、「0」から「9」までの番号を付けた10個のボールを「一の桁(赤色)」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。

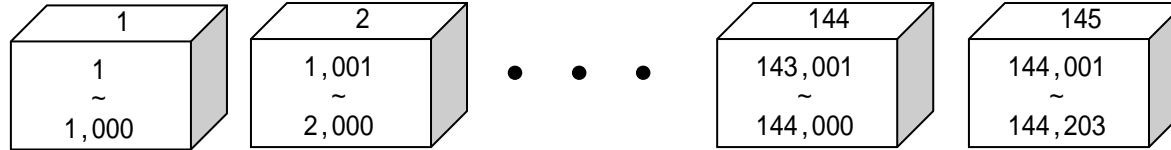
により決定されたユニット番号から、 で決定された当選番号の順に、受付番号の下一桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、9,640セット目までを当選とします。

9,641セット目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

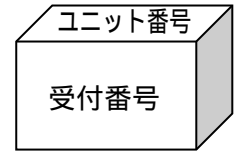
(参考1) 抽出例 (平成31年銘通常プルーフ貨幣セット (年銘板有))

すべての申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。

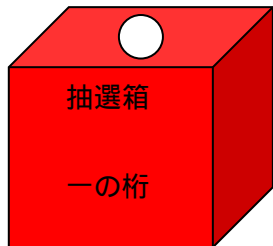
申込数 144,203セット
 抽選対象数 48,990セット
 当選倍率 2.9倍



(凡例)
 申込みの束(ユニット)
 のイメージ図

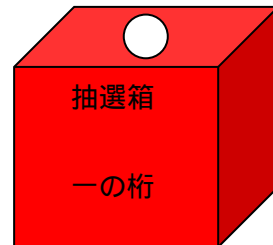
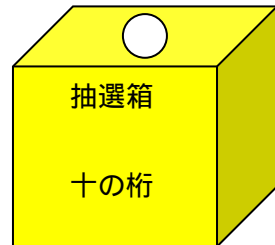
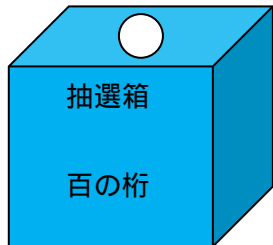


当選を決定するために、一の桁の抽選箱から1個、ボールを取り出します。

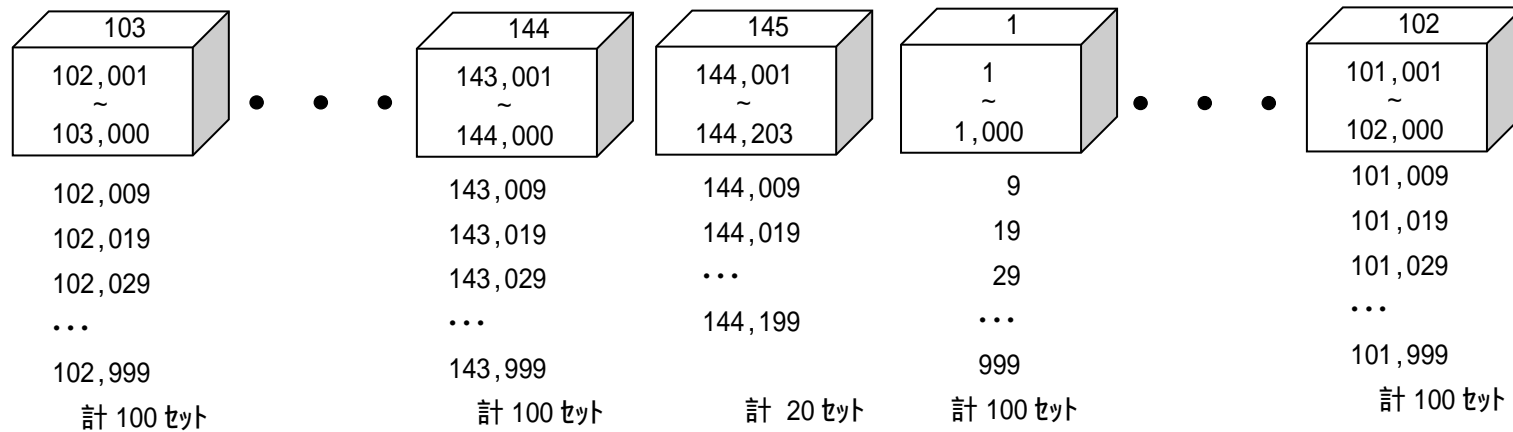


[当選番号の優先順位: 9、0、1、2、3、4、5、6、7、8]

また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、百の桁、十の桁、一の桁の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。



抽選されたボールの番号により、ユニット番号103番から、順次、下一桁9番の申込みを抜き取ります。



小計 14,420 セット

下一桁0番、1番の申込みについても同様に抜き取りを行います。

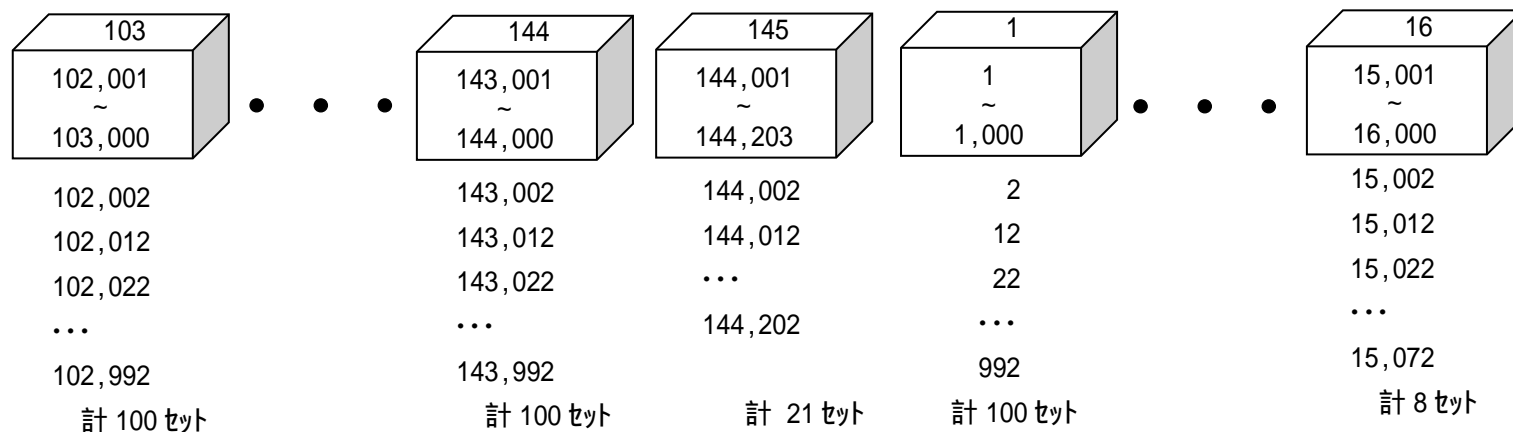
下一桁0番：14,420 セット

下一桁1番：14,421 セット

小計 28,841 セット

累計 43,261 セット

さらにユニット番号103番から、順次、当選数と合計し、抽選対象数の48,990セットとなるまで、下一桁2番の申込みを抜き取ります。



小計 5,729 セット

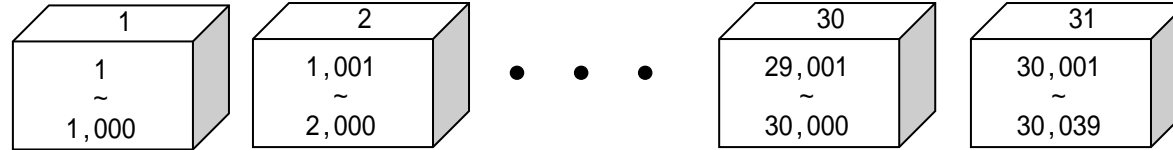
累計 48,990 セット

ユニット番号16番の受付番号15,082番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。

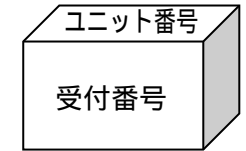
(参考2) 抽出例 (平成31年銘通常プルーフ貨幣セット (年銘板無))

すべての申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。

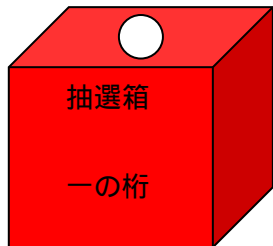
申込数 30,039セット
 抽選対象数 9,640セット
 当選倍率 3.1倍



(凡例)
 申込みの束(ユニット)
 のイメージ図

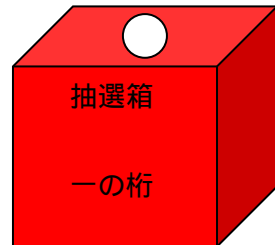
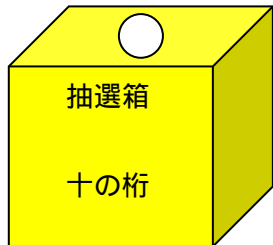


当選を決定するために、一の桁の抽選箱から1個、ボールを取り出します。

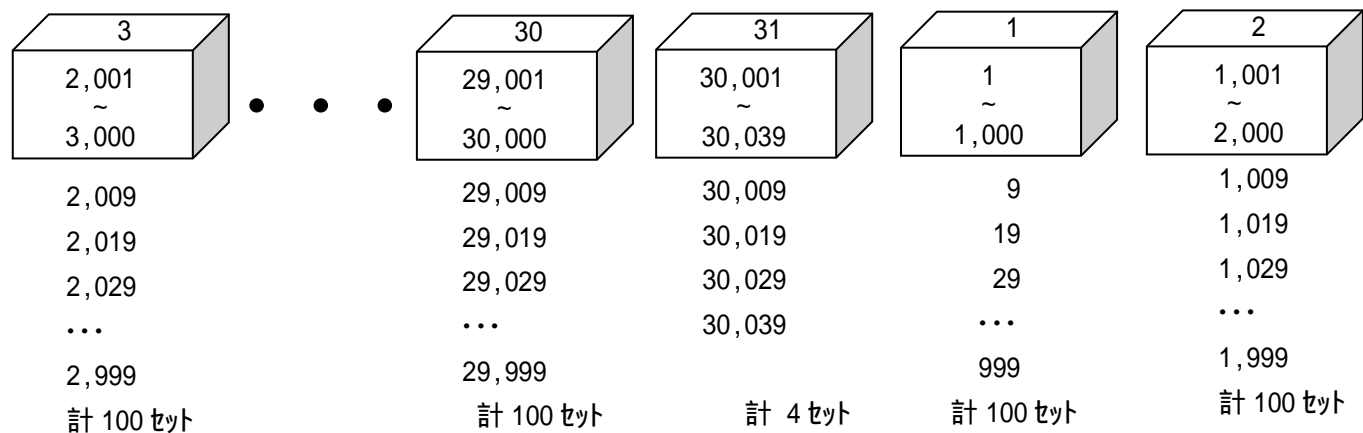


[当選番号の優先順位: 9、0、1、2、3、4、5、6、7、8]

また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、十の桁、一の桁の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。



抽選されたボールの番号により、ユニット番号3番から、順次、下一桁9番の申込みを抜き取ります。



小計 3,004 セット

下一桁0番、1番の申込みについても同様に抜き取りを行います。

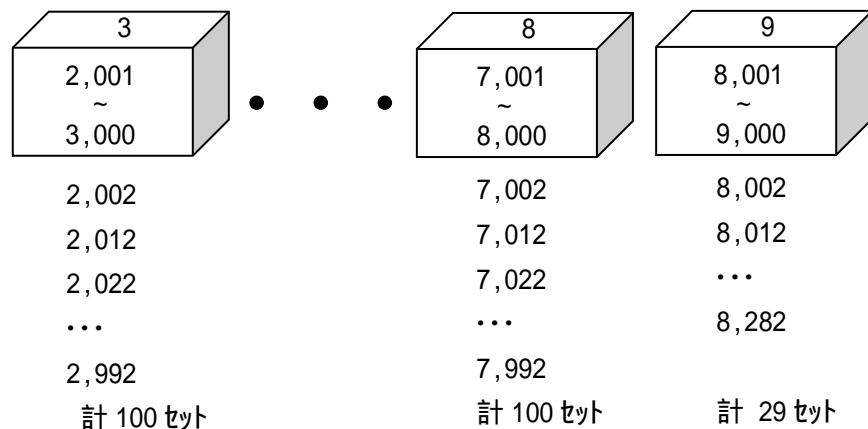
下一桁0番：3,003 セット

下一桁1番：3,004 セット

小計 6,007 セット

累計 9,011 セット

さらにユニット番号3番から、順次、当選数が と合計し、抽選対象数の9,640セットとなるまで、下一桁2番の申込みを抜き取ります。



小計 629 セット

累計 9,640 セット

ユニット番号9番の受付番号8,292番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。